

下田次郎 （しげが） 教育學者、文學博士。明治五年二月六日廣島縣生れ、
 昭和十二年二月二十四日没（一八七二—一九三六）。善姓多羅尾。明治二十九年帝國大學文科大學哲學科卒。三十二年東京女子高等師範學校教授、
 また文部省留學生となつて歐米に赴き、教育學及び女子教育を研究。
 著作中最も普及したるものゝ「胎教」（大正二年刊）があり、ジヨン、
 ラスキーン著「女子の本分」（明治四十一年八月二十五日金港堂書籍株式會社）の譯業もある。

その他、
 「日本家庭百科事典」（芳賀矢一共編、明治二十九年十一月一日富山房）、
 「女子の修養」（明治四十一年二月十五日博文館）、
 『現代兒童教訓實話』（明治四十三年七月二十五日博文館）、
 『教育と人格』（大正二年九月十八日敬文館）、
 『性の原理』（大正十年五月十五日博文館）、
 『婦人の使命』（大正十一年一月十五日實業之日本社）、
 『運動競技と國民性』（大正十一年六月五日右文館）、
 『婦人と希望』（昭和二年十一月七日實業之日本社）、
 『婦人と文化』（昭和四年一月二十日社會教育協會「社會教育パンフレット」）、
 『女性の道』（昭和十一年一月六日大日本圖書株式會社「大日本圖書」）、
 『拓け行く道』（昭和十二年四月七日東洋圖書株式會社）等。また、渡部政盛編「下田次郎氏の教育學」（昭和九年一月十五日日本教育學會）がある。

